

《下北消防本部からのお知らせ》

火事・救急・救助は局番なしの119番

平成25年3月5日から、119番は下北消防本部へつながります!

下北消防本部は管内で発生した、事故等に効果的に対応するために、119番の集中管理をおこないます。緊急通報は、一般電話・携帯電話の区分なく、局番なしの「119番」に通報してください。

□ 一般電話からのかけ方 □

- ・通報は落ち着いて、通信員の質問に答えるようにしてください。
- ・災害に応じた車両を出場させるため、詳しく聞くことがあります。
- ・応急手当をすれば、助かる場合もありますので、通信員の指導に従ってください。
- ・もしもの為に、住所や目標となるものなどを書いたメモを電話機前に貼っておきましょう。

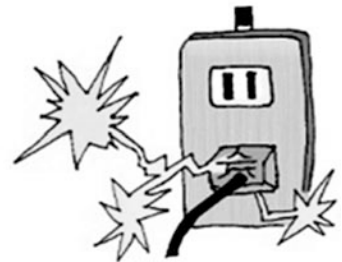
□ 携帯電話からのかけ方 □

- ・通報場所によっては、受信感度が悪く通話が途切れたり、通話不能になる場合があります。近くに加入電話がある場合は、なるべくその電話をご利用ください。
- ・運転中に通報する場合は、安全な場所に一旦停車して通報しましょう。
- ・状況確認のため、消防隊、救急隊が到着するまで電源を切らないでください。

**《東通消防署からのお知らせ》
電気器具や暖房器具による製品火災にご注意ください!****○電気コンセント**

電気コンセントの差し込み部分に付着したほこりや湿気により差し込んだ電源プラグに電気が通ると火花(スパーク)が発生し、火災に至る危険があります。

この現象による火災をトラッキング火災といいますが、これを防ぐには、ときどきコンセントを点検し、乾いた布で清掃することが重要です。

**○電源コード**

電源コードに傷や断線が発生していたり、間違った使い方をしてしまうと火災や感電事故を起こすことがありますので、次の注意点を確認、点検し、不具合があればすぐに使用をやめ、電気店などの専門業者による点検を受けましょう。

- ・コードの上に家具などの重いものを置かない。
- ・コードを束ねたり、強く折り曲げたりして使用しない。
- ・タコ足配線をしない。
- ・コードを継ぎ足し、ビニールテープで巻いて使用しない。
- ・使い終わったらすぐにスイッチを切る。コンセントから電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜く。

**○暖房器具**

暖房器具には、石油、ガス、電気などの熱源の種類、温風暖房機やストーブなどの種類により数多くの機器がありますが、毎年、使用方法の誤りで火災が多発していますので、次のことに注意して下さい。

- ・給油するときは、必ずスイッチを切り火を消す。
- ・ストーブの前方や上方に洗濯物を干さない。
- ・ふとんやカーテン、新聞などの燃えやすいもののそばで使用しない。

お問い合わせは
東通消防署
☎27-2199